

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成24年9月14日
【四半期会計期間】	第66期第3四半期（自平成24年5月1日至平成24年7月31日）
【会社名】	ナトコ株式会社
【英訳名】	NATOCO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 粕谷 健次
【本店の所在の場所】	愛知県みよし市打越町生賀山18番地
【電話番号】	(0561)32-2285(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 山本 豊
【最寄りの連絡場所】	愛知県みよし市打越町生賀山18番地
【電話番号】	(0561)32-2285(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 山本 豊
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第65期 第3四半期連結 累計期間	第66期 第3四半期連結 累計期間	第65期
会計期間	自平成22年 11月1日 至平成23年 7月31日	自平成23年 11月1日 至平成24年 7月31日	自平成22年 11月1日 至平成23年 10月31日
売上高(千円)	9,525,181	10,078,196	13,049,077
経常利益(千円)	870,757	751,071	1,160,071
四半期(当期)純利益(千円)	370,873	347,016	518,780
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	481,639	468,702	654,752
純資産額(千円)	12,489,835	13,013,823	12,662,949
総資産額(千円)	16,479,669	17,002,895	16,965,873
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	50.64	47.38	70.83
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	71.5	71.5	70.3

回次	第65期 第3四半期連結 会計期間	第66期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 5月1日 至平成23年 7月31日	自平成24年 5月1日 至平成24年 7月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.67	18.77

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第65期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、第2四半期連結累計期間において、耐?可精細化工(青?)有限公司を新たに設立し、連結の範囲に含めております。この結果、連結子会社は3社となりました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業等のリスクに新たに発生した重要事項等はありません。または前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に景気は緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、欧州の債務危機や中国などの新興国の成長鈍化、円高の長期化等により依然として予断を許さない状況で推移いたしました。

このような経済状況のもとで、当社グループは新規顧客の獲得に向けた営業活動を積極的に展開するとともに、顧客ニーズに即した環境対応型製品や高機能製品の開発に注力いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高10,078百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

一方、利益面におきましては、経費削減に努めたものの、依然高止まりを続ける原材料価格の影響により、営業利益720百万円（前年同期比13.8%減）、経常利益751百万円（前年同期比13.7%減）、四半期純利益347百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

塗料事業

金属用塗料分野では、工作機械を中心に需要が堅調に推移したことに加え、環境対応型塗料の拡販により、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。木工建材用塗料分野では、塗装レス製品の需要割合が増加した影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。無機建材用塗料分野では、大手ユーザーの需要が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。その他の分野では、樹脂素材分野においては、スマートフォン向けの需要が好調に推移し、また、シンナーにおいては、前連結会計年度で見直した販売体制のもと、新規ユーザーの取引が増加し、売上高は前年同期に比べ大きく増加いたしました。

その結果、塗料事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は8,868百万円（前年同期比11.4%増）、セグメント利益は972百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

ファインケミカル事業

LCD用微粒子及び化成品における光学材料向けコーティング材やシリコン系表面機能材料は、海外メーカーの在庫調整の影響を受け、需要が著しく減少したため、売上高は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は1,041百万円（前年同期比27.5%減）、セグメント利益は131百万円（前年同期比51.5%減）となりました。

産業廃棄物収集運搬・処分事業

産業廃棄物収集運搬・処分におきましては、積極的な営業活動による新規ユーザーの獲得で、廃棄物の取扱量が増加し、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、産業廃棄物収集運搬・処分事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は168百万円（前年同期比32.8%増）、セグメント利益は29百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は732百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,299,000
計	26,299,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年7月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年9月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,324,800	7,324,800	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	7,324,800	7,324,800	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年5月1日 ~ 平成24年7月31日	-	7,324,800	-	1,626,340	-	2,288,760

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年4月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年7月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 800	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 7,323,200	73,232	-
単元未満株式	普通株式 800	-	1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	7,324,800	-	-
総株主の議決権	-	73,232	-

- (注) 1. 「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数10個が含まれております。
2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が47株含まれております。

【自己株式等】

平成24年7月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（％）
ナトコ株式会社	愛知県みよし市打越町 生賀山18番地	800	-	800	0.01
計	-	800	-	800	0.01

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年5月1日から平成24年7月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年11月1日から平成24年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,344,065	5,476,683
受取手形及び売掛金	4,356,549	4,333,081
有価証券	199,800	100,000
商品及び製品	744,554	869,100
仕掛品	39,225	46,694
原材料及び貯蔵品	328,324	400,010
繰延税金資産	120,450	62,124
その他	551,950	658,517
貸倒引当金	4,296	6,206
流動資産合計	11,680,622	11,940,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,114,108	2,023,390
機械装置及び運搬具(純額)	759,667	607,823
土地	1,713,470	1,713,470
その他(純額)	130,736	117,076
有形固定資産合計	4,717,982	4,461,760
無形固定資産	134,797	206,750
投資その他の資産		
投資有価証券	271,118	238,826
繰延税金資産	9,896	9,025
その他	231,670	207,175
貸倒引当金	80,213	60,649
投資その他の資産合計	432,471	394,378
固定資産合計	5,285,250	5,062,889
資産合計	16,965,873	17,002,895
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,737,549	2,721,576
未払法人税等	206,589	30,009
賞与引当金	212,339	108,926
役員賞与引当金	29,950	24,299
その他	650,096	618,150
流動負債合計	3,836,524	3,502,961
固定負債		
繰延税金負債	32,087	37,362
退職給付引当金	79,424	75,776
役員退職慰労引当金	210,604	225,927
その他	144,283	147,044
固定負債合計	466,399	486,111
負債合計	4,302,923	3,989,072

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	2,288,760	2,288,760
利益剰余金	8,007,621	8,237,454
自己株式	2,537	2,582
株主資本合計	11,920,184	12,149,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,537	32,383
為替換算調整勘定	6,646	17,157
その他の包括利益累計額合計	5,109	15,226
少数株主持分	737,655	848,624
純資産合計	12,662,949	13,013,823
負債純資産合計	16,965,873	17,002,895

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)
売上高	9,525,181	10,078,196
売上原価	6,989,796	7,637,770
売上総利益	2,535,384	2,440,425
販売費及び一般管理費	1,699,137	1,719,835
営業利益	836,247	720,590
営業外収益		
受取利息	7,973	6,173
受取配当金	5,270	7,805
有価証券評価益	11,875	-
貸倒引当金戻入額	-	17,654
その他	22,380	16,176
営業外収益合計	47,499	47,810
営業外費用		
支払利息	1,023	29
売上割引	7,538	6,944
為替差損	3,602	10,350
その他	824	4
営業外費用合計	12,989	17,329
経常利益	870,757	751,071
特別利益		
固定資産売却益	346	4,555
貸倒引当金戻入額	10,199	-
投資有価証券売却益	-	1,575
特別利益合計	10,546	6,130
特別損失		
固定資産処分損	5,598	5,564
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,617	-
特別損失合計	21,215	5,564
税金等調整前四半期純利益	860,088	751,637
法人税、住民税及び事業税	287,699	237,062
法人税等調整額	99,542	55,885
法人税等合計	387,241	292,947
少数株主損益調整前四半期純利益	472,846	458,689
少数株主利益	101,973	111,673
四半期純利益	370,873	347,016

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	472,846	458,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,363	33,816
為替換算調整勘定	570	23,804
その他の包括利益合計	8,792	10,012
四半期包括利益	481,639	468,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379,671	357,133
少数株主に係る四半期包括利益	101,967	111,568

【継続企業の前提に関する事項】

当第3四半期連結会計期間（自平成24年5月1日至平成24年7月31日）

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間
（自平成23年11月1日
至平成24年7月31日）

（連結の範囲の重要な変更）

第2四半期連結会計期間において、耐?可精細化工（青?）有限公司を新たに設立し、連結の範囲に含めております。
この結果、連結子会社は3社となりました。

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間（自平成23年11月1日至平成24年7月31日）

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第3四半期連結累計期間（自平成23年11月1日至平成24年7月31日）

該当事項はありません。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間
（自平成23年11月1日
至平成24年7月31日）

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

保証債務

次の関係会社について、リース債務及び土地賃貸借契約に係る契約残存期間の賃料に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
㈲豊川シーエムシー	77,093千円	73,168千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)
減価償却費	388,365千円	393,186千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年11月1日至平成23年7月31日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年1月27日 定時株主総会	普通株式	58,592	8	平成22年10月31日	平成23年1月28日	利益剰余金
平成23年6月6日 取締役会	普通株式	58,592	8	平成23年4月30日	平成23年7月11日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年7月31日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年1月26日 定時株主総会	普通株式	58,592	8	平成23年10月31日	平成24年1月27日	利益剰余金
平成24年6月8日 取締役会	普通株式	58,591	8	平成24年4月30日	平成24年7月9日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成22年11月1日 至平成23年7月31日）
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	産業廃棄物 収集運搬・ 処分事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	7,962,539	1,435,695	126,946	9,525,181	-	9,525,181
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	(-)	-
計	7,962,539	1,435,695	126,946	9,525,181	(-)	9,525,181
セグメント利益	981,152	271,491	28,977	1,281,621	(445,374)	836,247

(注)1. セグメント利益の調整額445,374千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年11月1日 至平成24年7月31日）
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	産業廃棄物 収集運搬・ 処分事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	8,868,080	1,041,496	168,619	10,078,196	-	10,078,196
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	(-)	-
計	8,868,080	1,041,496	168,619	10,078,196	(-)	10,078,196
セグメント利益	972,538	131,766	29,907	1,134,213	(413,622)	720,590

(注)1. セグメント利益の調整額413,622千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

金融商品の当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の当第3四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額	50円64銭	47円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	370,873	347,016
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	370,873	347,016
普通株式の期中平均株式数(株)	7,324,018	7,323,981

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年6月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 配当金の総額 58,591千円
- (ロ) 1株当たりの金額 8円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成24年7月9日

(注) 平成24年4月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年9月14日

ナトコ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井上 嗣平 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 賢次 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているナトコ株式会社の平成23年11月1日から平成24年10月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年5月1日から平成24年7月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年11月1日から平成24年7月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ナトコ株式会社及び連結子会社の平成24年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。